

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第4区分  
 【発行日】平成24年3月29日(2012.3.29)

【公開番号】特開2010-187489(P2010-187489A)  
 【公開日】平成22年8月26日(2010.8.26)  
 【年通号数】公開・登録公報2010-034  
 【出願番号】特願2009-30669(P2009-30669)  
 【国際特許分類】

H 0 2 K 9/19 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 9/19 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月10日(2012.2.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

回転軸の外面に設けられたロータと、  
 前記ロータの外表面と所定の間隔を有して対向するように配設されてコアにコイルを巻き付けたステータと、  
 前記コイルのコイルエンドに冷却液を送給する冷却液送給手段と  
 を備えている回転電機において、  
前記回転軸の軸方向外側の前記コイルエンド端部のみに、前記回転軸の径方向外側に突出する鏝部が設けられると共に、  
 前記冷却液送給手段が、前記冷却液を前記コイルエンドの前記鏝部よりも前記コア側へ送給するものである  
 ことを特徴とする回転電機。

【請求項2】

請求項1に記載の回転電機において、  
 前記鏝部が、前記回転軸の周方向全長にわたって前記コイルエンドに設けられている  
 ことを特徴とする回転電機。

【請求項3】

請求項1又は請求項2に記載の回転電機において、  
 前記冷却液送給手段が、前記冷却液を前記コイルエンドの上方から送給するものである  
 ことを特徴とする回転電機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

前述した課題を解決するための、第一番目の発明に係る回転電機は、回転軸の外面に設けられたロータと、前記ロータの外表面と所定の間隔を有して対向するように配設されてコアにコイルを巻き付けたステータと、前記コイルのコイルエンドに冷却液を送給する冷却液送給手段とを備えている回転電機において、前記回転軸の軸方向外側の前記コイルエン

ド端部のみに、前記回転軸の径方向外側に突出する鏝部が設けられると共に、前記冷却液送給手段が、前記冷却液を前記コイルエンドの前記鏝部よりも前記コア側へ送給するものであることを特徴とする。